



スタッフ通信

5月の第2日曜日は「母の日」。誰もが知っている行事ですが、母の日を祝う習慣はどのようにして生まれたかご存じでしたか？

その起源には諸説ありますが、よく知られているのは「100年ほど前のアメリカ・ウェストヴァージニア州で、アンナ・ジャービスという女性が亡き母を追悼するため、1908年5月10日にフィラデルフィアの教会で白いカーネーションを配ったのが始まり」という話です。

この風習は1910年、ウェストヴァージニア州の知事が5月第2日曜日を母の日にすると宣言し、やがてアメリカ全土に広まっていき、1914年には5月の第2日曜日が「母の日」と制定されたそう。

ちなみに、日本で初めて母の日のイベントが行われたのは明治末期頃。1915年（大正4年）には教会でお祝いの行事が催されるようになり、徐々に民間に広まっていったと伝えられています。

母の日は、長い歴史の中でカーネーションを贈る日と定着していますが、日頃の母の苦勞をいたわり母へ感謝を表す日でもあります。

今さら・・・と恥ずかしがらずに、言葉で伝えてみてはいかがでしょうか？

「お母さん、いつもありがとう」

その一言で、お母さんの日ごろのストレスがぶっ飛びます！魔法の言葉♪



子どもの日には「館まつり」碑文谷フレンドパーク12を開催する予定です。

新型コロナ感染拡大防止の観点から、規模を小さくしての開催になります。

詳細についてはチラシ等でご確認ください。

※感染状況に因っては、予定の変更もございます。